

平成29年度 事業報告

《 概 要 》

我が国では、少子高齢化が進み、労働力人口の減少が課題となりつつあります。このような中、政府が、家庭・職場・地域で誰もが活躍できる社会を目指す「一億総活躍社会」は、我が国の構造的な問題である少子高齢化に歯止めをかけ、「希望を生み出す強い経済」、「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」の「新・三本の矢」の実現を目的としております。

これは、高齢者へも積極的な経済活動への参加を呼び掛けるものであり、現代社会において高齢者は立派な社会の担い手となります。

つまり、経験と知識を蓄えた高齢者は、まだまだ地域社会に貢献できる可能性を秘めており、その発信基地が霧島市シルバー人材センターであると考えます。

当センターでは、第3次中期計画の最終年度として、計画に沿って下記の通り事業を進めて参りました。

まず会員関係では、1,200名の会員獲得目標を掲げ、理事会、就業開拓委員会を中心に街頭でのチラシ配布や各家庭へのポスティング活動、一般市民を対象としたグラウンドゴルフ大会の開催、更には1・1運動の強化など、入会促進を行いました。1,029名にとどまり目標の達成はできませんでした。

しかし、前年度末の会員数は1,008名でしたので、前年度比較では21名の増加となりました。

受託事業を前年度実績と比較しますと、受託件数については8,867件で104件の増加となりました。また、契約額についても、公共事業が176,946,612円で21,574,392円増加し、また、民間事業についても、228,260,619円で2,119,003円の増加となり、総額で405,207,231円となり、23,693,395円増加しました。

派遣事業においては、公共施設管理が民営化されるなど受注件数の減少や、ミスマッチなどにより、公共事業が14,321,491円で2,006,103円減少し、また、民間事業についても、64,081,323円で1,062,372円減少し、総額で78,402,814円となり、3,068,475円の減少となりました。

受託事業、派遣事業の合計で、483,610,045円となり20,624,920円の増加となりました。

安全就業対策については、安全・適正就業委員会並びに安全指導専門員による安全指導の徹底とパトロールの強化、安全研修会の実施等行ったにもかかわらず、傷害事故13件・賠償責任事故4件・車輻事故1件、あわせて18件となり、前年度より5件増加しました。

詳細については以下のとおりです。

1. 会員組織の整備及び活性化

- (1) 入会促進と退会者抑制を行った結果、年度当初の会員数と比較して21名の増加となりました。
- (2) 公平・公正な就業機会の提供並びに事務の効率化を図るため、受注公開「見える化制度」を導入しました。若干の課題は残ったものの、改善を進めながらよりよい制度にして参ります。
- (3) 介護予防・日常生活支援総合事業の増加に伴い、的確に対応できる体制づくりに着手しましたが、コーディネーターを配置できない地区があり組織の確立には至りませんでした。今後の対応策を探るため、女性の会を中心に先進地研修を行いました。
- (4) 前年度に引き続き、技術の向上、後継者育成を考慮した、剪定、草刈講習会を開催しました。
- (5) 年齢、体力に関係なく働き続けることができるセンターを目指し、完全請負制定着のための研修会を開催しました。
- (6) 会員相互の連帯意識を高めるために、ボランティア活動や初午祭・霧島国分夏祭りへ参加しました。結果として、退会者抑制にもつながったと考えます。
また、10月15日の「シルバーの日」には、城山公園において生き生きシルバーイベントを開催しました。

2. 事務局組織の整備及び安定的な財政運営

- (1) 受注公開「見える化制度」の導入にあたり、見積専門員・職群班長向けのフローチャートを作成し研修を行いました。
また、発注者の理解を深めるため、チラシを作成し周知しました。
- (2) 本部事務所移転に関し行政と協議を進めましたが、適当な行政財産が見当たらず今後も協議を継続していきます。
- (3) 理事にそれぞれ業務を担っていただき、会員、理事主導の運営を行いました。

3. 就業機会の開拓・創出及び確保

- (1) 就業開拓委員会、理事会を中心に営業活動を強化しました。特に9月にはサンキュー隼人店、マックスバリュ国分店において、街頭キャンペーンを行いました。また、戸別訪問も合わせて行いました。その結果、受託事業は契約額が前年度を上回りました。
- (2) 霧島市黒石岳森林公園を指定管理者として指定していただきました。
- (3) 9月に普及啓発の一環として広報誌を発行し、会員・市民へ向けて情報の提供を行いました。
- (4) 独自事業惣菜部でお弁当「せごどん物語」を開発し販売を開始しました。

4. 安全就業及び適正就業の徹底

- (1) 毎月第4木曜日を安全の日と定め、安全・適正就業委員会を中心に、作業現場への安全パトロールを行い、指導の徹底を図りました。また、不定期で安全指導専門員もパトロールを行いました。
- (2) 6月を安全就業強化月間として定め、安全に対する意識の高揚を図りました。
- (3) 会員の安全に対する意識を高めるため、安全だよりを発行しました。
- (4) 鹿児島県の安全優良センターとして表彰された公益社団法人出水市シルバー人材センターに先進地研修を行いました。
- (5) 派遣事業について、業務拡大が行われ週40時間までの就業が可能となりました。
- (6) 完全請負制定着のための研修会を開催しました。
- (7) 公平公正な就業機会を提供するために、見える化制度導入のための説明会を開催しました。
- (8) 見積基準策定検討委員会において見積標準単価の見直しを行いました。

5. 関係機関との連携強化

- (1) 空き家管理や墓守業務のPRのため、関東・関西のふるさと会の総会でチラシの配布を依頼しました。

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。